

ヘルスケアビジネス臨時支援事業費補助金審査要領

(目的)

第1条 この要領は、ヘルスケアビジネス臨時支援事業費補助金審査委員会（以下「審査委員会」という。）が、ヘルスケアビジネス臨時支援事業費補助金審査委員会設置要領（以下「設置要領」という。）第2条の規定に基づく審査を適正かつ公正に行うために必要な事項を定める。

(審査方法等)

第2条 設置要領第2条に基づく審査は、ヘルスケアビジネス臨時支援事業実施要領（以下「実施要領」という。）第8条第1項に基づく申請を行った者（以下「申請者」という。）から提出された補助事業採択申請書に基づき行い、別紙により次の項目及び配点によって審査を行うものとする。

- | | |
|-------------------|-----|
| (1) 目的・目標の的確性 | 20点 |
| (2) 事業実施の効果 | 20点 |
| (3) 事業実施体制の実効性 | 15点 |
| (4) 健康経営優良法人認定状況等 | 5点 |
| (5) 開発等の内容の適切性 | 10点 |
| (6) 開発を行う機器等の優位性 | 10点 |
| (7) 商品化の可能性 | 10点 |
| (8) 開発経費の妥当性 | 10点 |

- 2 実施要領第5条第1項第2号に掲げる展示会出展支援事業を審査する場合は、前項第5号から第8号までの項目については審査を行わず、一律24点として評価する。
- 3 事務局は、各委員の評価点を集計し、合計点数の高い順に、予算の範囲内において採択予定件数までを補助事業の対象として選定する。ただし、各委員の評価点の平均が6割を下回る事業は選定しない。
- 4 合計点数が同点の者がある場合は、委員の協議により順位を付けるものとし、協議により決定できないときは、委員の多数決によって決定する。

(意見)

第3条 委員は、前条の審査の際、審査項目ごとに評価の根拠となった意見や今後の事業化の参考とすべき意見を必要に応じて審査票に記載するものとする。

- 2 前項の意見を踏まえ、必要に応じて審査結果に審査委員会の意見を付すことができる。

附 則

この要領は、令和8年4月6日から施行する。

この要領は、令和8年6月8日から施行する。